

つながるスタ



暮らすインターン

～学生・企業・地域をつなげるコミュニティで地域の未来を創る～



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

8

働きがいの
経済成長も



11

住み続けられる
まちづくりを



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



背景と解決したい課題、解決策



背景

若者の県内就職者数の減少・県外流出



分析

- ① 学生は、地域や企業と関わりが全くなくイメージできない
- ② 企業も学生との接点がないため魅力発信が難しい



解決策

- ① 学生・企業・地域をつなぐコミュニティ創出
- ② 地域の魅力を伝える新たなインターンの実施

『暮らす』インターン

[暮らす体験]

- お試し住宅を利用した定住体験
- 地域おこし協力隊と地域を知れるツアー

[働く体験]

- 1週間以上のインターンシップ
- 様々な業界を見渡すパッケージ型

企画 (4月~5月)



実施準備 (6月~7月)



運営 (8月~9月)



振り返り (10月~)



1日目

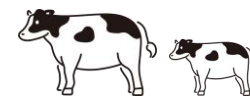
- お試し住宅案内
- 地域体験ツアー
- サウナ体験（一行平キャンプ場）



実施報告 | 2023夏暮らすインターン実施概要



@大山乳業農業協同組合



2日目

- 酪農実習
- 商品販売体験

3日目

- 会社説明
- 製品開発/販売促進体験
- 社員と対話交流



実施報告 | 2023夏暮らすインターン実施概要



@株式会社井木組



4日目

- 会社概要説明
- 現場見学（ドローン見学）
- ICT実習

5日目

- 建築現場見学
- モデルハウス見学



6日目

- 観光（菊港・鳴り石の浜）
- 住民とのジャム作り（たつこの掌）
- キャンプファイヤー/若手社員と交流会（一向平キャンプ場）



7日目

- 発表資料作成
- 琴浦さんち清掃
- 報告会



実施報告 | 2023夏暮らすインターン実施概要



上写真:暮らす体験 (右からサウナ体験、住民交流、キャンプファイヤー、お試し住宅での宿泊)
地域の特色を知る体験を行い、住民との交流を行うことで“住み”、“暮らし”、“働く”イメージをもってもらう



・上写真:就労体験 (右から酪農実習、商品開発、建設現場実習、建築の営業実習)
様々な企業での実習を行い、専攻関係なく広く学生にアピールするような取り組みとしている

参加後の満足度の理由について

- ・ただ観光に来るだけではわからない魅力を知ることができた
- ・想像以上に充実した1週間を過ごすことができ、参加することができてよかったと心から思うことができた
- ・琴浦町の魅力を周りに伝えたいと思った
- ・楽しく共同生活を送ることができた

【まとめ】

“暮らす体験”により就職候補地の視野が広がる

アクティビティや暮らし体験が新鮮だったという参加者の声
→出身問わず、鳥取を知ろうというモチベーションの向上が見受けられた

“交流”はインターンを有意義なものにする

企業や地元も方との交流が目的の学生も多く、交流における満足度が高かった
会話を通してインターンの感想をアウトプットすることができ、実習内容としても効果的。交流を通して縁をツナグこともできた

参加後の満足度の理由について

- ・ 就労体験を通して以前に比べ、建設業に興味を持つようになった
- ・ 実際に体験してみることの重要性を学んだ
- ・ 専攻と関係なくとも詳しく説明をしてくださったので仕事内容について理解することができた
- ・ 特に井木組は建築系の専攻でなくとも就職できると知った驚いたし、自分の将来の視野が広がり、とてもいい経験になった
- ・ やる気や少しでも自分の可能性を感じるものがある場合、積極的に取り組んだり体験に参加したい

【まとめ】

パッケージ型実習による各業界のイメージアップ

- ・ アンケート結果では専攻外の業界のイメージアップが目立った
→学生の専攻外を含んだパッケージ型のインターンでより広いターゲットにアピールすることが可能になる
- ・ 学生目の向かない状況を打破することができる

まとめ | 暮らすインターンが持つ強み



地域で暮らし 働くイメージが持てる

「住む」・「働く」・「交流する」
という、暮らしに欠かせない要素を
体験することができる。想定してい
た生活とのミスマッチを減らす。



学生の専攻以外の 企業もスポットライトを

2～3社の実習のため、参加者の専
攻以外の業種でも体験を行うため、
企業としては**幅広いターゲット**をと
ることが出来る。



「地域プレイヤー」 として学生が参画・活躍

運営する学生は半年にわたって企業
や地域と関わる。そのため、より深
い関わりにつながり、**思い入れが更に
強くなっていく。**

従来のインターンと比べ、“人と人とのつながり”がより強くなるプログラム

まとめ | ①地域で暮らし働くイメージが持てる



地域で暮らし
働くイメージが持てる

地方では土地柄が働き方に大きく影響する



「住む」



「働く」



「交流」

「暮らす」ために重要な三要素を知る



就職前と後のミスマッチを防ぐ！

まとめ | ②様々な企業にスポットライトを



学生の専攻以外の
企業もスポットライトを

様々な企業を体験するため幅広いアピールが可能

表 建設業の実習に参加した学生の評価

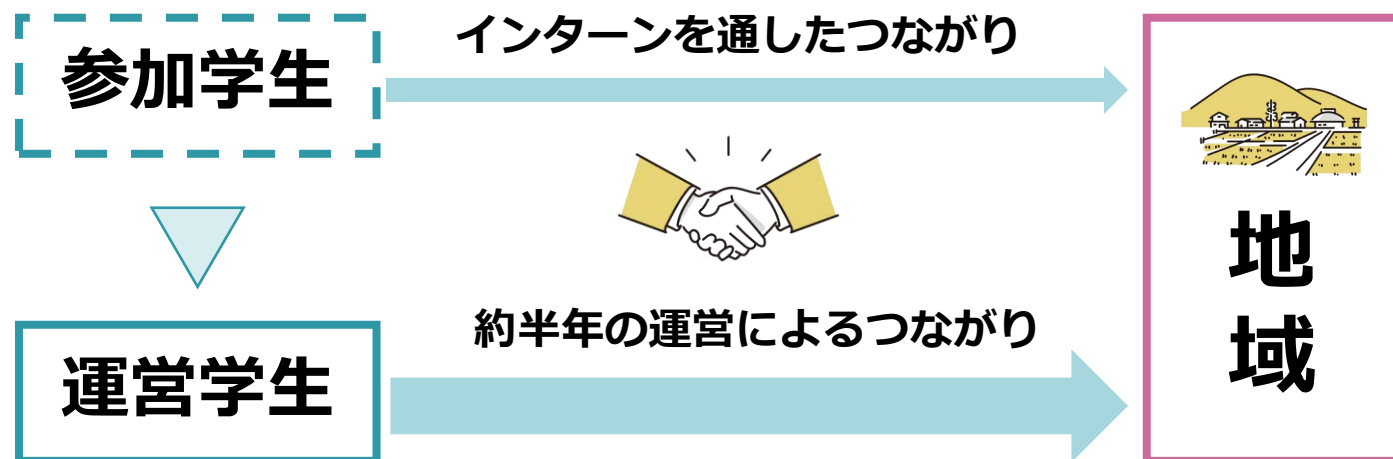
参加前	参加後	上昇値
4	8	4
6	8	2
4	10	6
7	9	2
6	10	4
7	9	2

参加前と比較し大幅に印象が良くなっている！

まとめ | ③ 「地域プレイヤー」 として学生が参画・活躍



「地域プレイヤー」
として学生が参画・活躍



運営学生において特に地域とのつながりが深まる
インターンの参加学生が運営へ流れる事例も！！

地域の関係人口の創出

実施まとめ | 振り返りと展望



夏インターン企画	夏インターン実施	この先の展望
➤ 打ち合わせ（大山乳業農業協同組合・株式会社井木組・琴浦町役場・中央会） ➤ 企業見学	➤ アンケート実施 ➤ インターンの運営 ➤ 広報実施（とっとりインターンwebフェスティバル） ➤ 一般応募の実施	実施予定：2024大山町にて企画中 <u>展望</u> ➤ <u>多様な鳥取学生の鳥取定着</u> ➤ <u>多様な産業に人が集まる未来へ</u> →鳥取県の様々な地域で展開！！

人と人をつなぎ、地域の未来を創出する

目標 02

若者の鳥取定着による地域経済発展

- インターンに着目した新たな施策提案
- 学生がより地域に根付き、関係人口も創出
- 様々な業界にスポットライトを！

目標 01

一体的なパートナーシップ構築

- 3者の距離を縮める新たなコミュニティ創出
- 抱える課題の共有・解決策提案
- 人と人とのつながりを重視したコミュニティ

支出

- 寝具借り上げ料金 : **13,800円** (2,300円 × 6人)
- 梨ジャム作り体験費 : **12,000円** (2,000円 × 6人)
- 「コトウラ暮らしお試住宅」電気・水道代利用料金
: **3,470円**
- 交通費 : **5,360円**

※予算で広告費で5万と設定していたが、想定より学生の集客が良かったため
使用していない